

安行小の環境学習・活動の紹介

安行小の秋を食べよう 菊次 哲也

毎年、安行小学校では安行小こどもエコクラブの活動として「安行小の秋を食べよう！」というイベントを行っています。今年は十月二十四日（土）に行いました。講師の先生は川口植物の会長西川昭三先生です。安行のふるさとの森で「一輪草」を発見し、守り育てた方です。

はじめに体育館前のザクロを探つて食べました。ザクロは八百屋さん、スーパーでもまず手に入りません。「すっぱいけど、甘い！」「おいしい」初めて口にしたという子どもたちがほとんどでした。



ミカンの次は柿です。学校裏門近くに大きな柿の木があります。おいしい甘柿です。たくさんなっているので、下に網を敷いて、枝切りばさみでどんどん落としていきました。上から落ちてくる柿の数を数えながら、柿がはね上がるたびに子どもたちから歓声があがりました。

最後に学年園の田んぼで稲刈りをしました。鎌の使い方を教わり、稲を刈り、その稲を縄にかけ並べていきました。刈った後の田んぼにはメダカ、ヤゴ、タニシを見ることができました。稲刈りを終えた後は、落ち葉だめ横にあるイチヨウの実、銀杏をフライパンで焼いて食べました。学校の校庭にこれだけの木々



次に投てき板の後ろにあるクルミの木の下に行きました。残念ながら実はほとんど下に落ちていました。数個の実を割つて、みんなで口に入れてみました。普通、森に入つて見るのはオニグルミです。固く、油分の多い実です。安行小のクルミはお菓子に使うカシグルミです。手で割れるのでテウチグルミとも言います。カシグルミであれだけの大木は川口でなかなか見ることできません。

次に中庭に行きミカンの実を食べま

した。まだ青いミカンが多く、ちよつと酸っぱかったです。ミカンのへたを取つてよく見るとつぶつぶがあります。その数で房の数がわかります。そのつぶつぶが木から栄養を送る管になっています。



る学校は安行小だけかも知れません。学校は安行小だけかも知れません。

があり、秋を楽しめ